



The sky's the limit.

全国大会参加報告

～高円宮杯妃杯JFA第28回全日本U-15女子サッカー選手権大会～

12月9日・10日に栃木県にて開催された「高円宮杯妃杯JFA第28回全日本U-15女子サッカー選手権大会」の1回戦および2回戦に当地区から土屋審判員が参加しました。

土屋審判員より大会参加報告が届きましたので、お伝えします。

【研修会テーマ】 『距離感』

【担当試合】

1回戦 FCみやぎvs北陸大学フィオーレ 主審
2回戦 北陸大学フィオーレ
vs神村学園中等部女子サッカー部 主審



【試合を担当して】

- ・審判団の打ち合わせの時点でタッチジャッジについて丁寧にやりたいとの旨を伝えていたため、スムーズに進行することが出来ていた。
- ・ペナルティエリア内でのファウルの事象の際、結果的に笛を吹きPKにしたがタイミングが少し遅い印象があった。明らかなトリップが起きたことは間違いなくPKの判断としては適切であるが、ペナルティエリア内というアドバンテージがほぼない場所ではすぐにファウルの笛を使ったほうが良い。
- ・試合全体としては、事象を近くで見ようとするし意思は伝わったが、動き出しのタイミングについて予測を踏まえて行う事でワンテンポのズレを軽減できるとのアドバイスをいただいた。
- ・試合の展開ごとに体の向きを変え、しっかりと見ようとしていることがよく映っていた印象があった。ゴールエリア内で選手同士が一箇所に集中する場面が起きた。そうした際には一番危険な状況であるキーパーの安全を最優先にした判断を行わなければいけない。

【振り返り】

今回の大会は自身の今まで経験したきたことを最大限に活かしてのレフェリングが求められるような試合でした。何が起きるのかを予測しながらポジションを作っていかなければならないことが多く求められたのではないかと感じます。その中で今回の大会を通して意識してテーマにしていた「距離感」についてはINSの方々にもあげて頂いたことは自身にとって大きな収穫であったと感じます。

全国各地から様々な審判の方と初めてではありましたが、そうした中で自分がどう試合を進めていきたいか伝えることはとても大事なことだと改めて気づくことができました。また多くの仲間にも出会うことができたのはとても嬉しいことでした。

最後に今回全国大会というとても大きな試合に審判員として参加させていただきありがとうございます。全国という大きな地で審判ができたことはこれからの審判活動に大きなプラスになっていくと感じることができました。この経験を今後につけていけるよう日々のトレーニングを始め、私生活の場面でも活かしていきたいと思えます。常に周りの方々への感謝を忘れず、努力していきます。

- Referee Development Partner -

GOLD



にしみこども
クリニック

BRONZE

